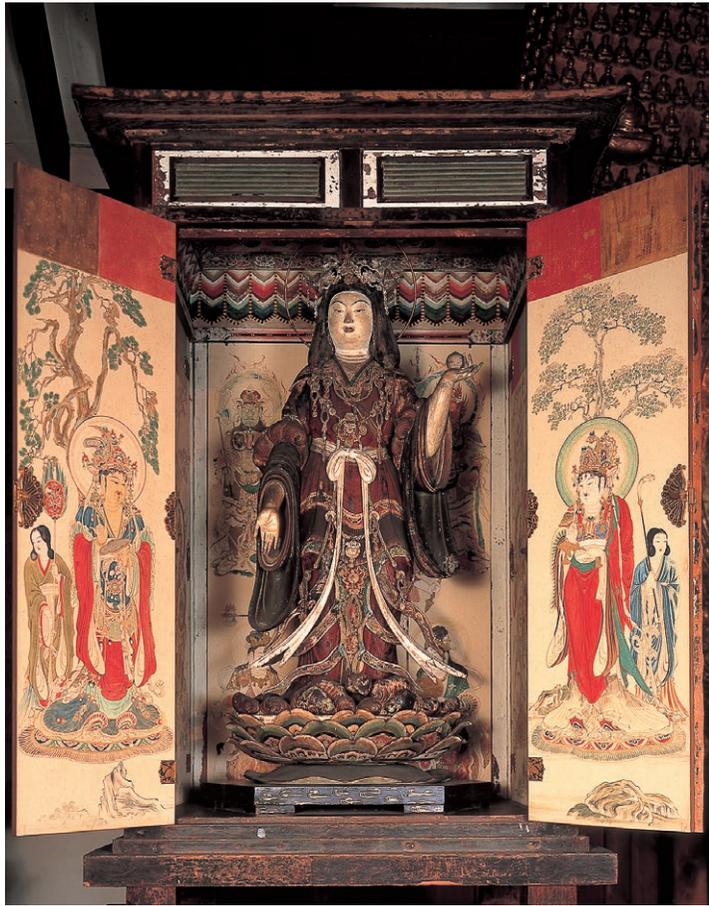


京 佛

新 年 号



木津川市 浄瑠璃寺 重文 厨子入木造吉祥天立像

理事長 有馬頼底

常務理事 荒木元悦

宮城泰年

佐分宗順

理事 大西真興

安井攸爾

掃部光昭

北川隆法

北園文英

坂口博翁

澤 宗泰

砂原秀輝

田邊宗一

監事 山木康稔

評議員 岡本龍雄

川村俊弘

菊入諒如

小出量堂

小松玄澄

森 孝忍

塩見明德

多紀穎忍

田中惠厚

谷内弘照

戸田妙昭

華園源昭

町田泰宣

三浦文良

横江桃国

沢田教英

吉田清順

長澤香静

園部町仏教会会長 吉田環樹

京丹波町丹波仏教会会長 長澤智雄

福知山市仏教会会長 佐々木善数

綾部市仏教会会長 黒川泰信

加悦谷仏教会会長 大紫磨正光

大江町仏教会会長 若田真樹

京丹波町和知仏教会会長 竹中成圓

三和町仏教会会長 岡田静峰

舞鶴東仏教会会長 越後義英



理事長報告

春水満四沢

しゅんすいたくにもみつ



臨濟宗相国寺派管長

理事長 有馬 頼 底

丁酉。新年を迎え、ご寺院各位に於かれましては益々ご清祥の御事と存じ上げます。

平素は何かとご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当会に於きましては本年も宗派を超えた仏教諸行事、福祉や文化関係の諸事業をより推進致すとともに府、市や明日の京都文化遺産プラットフォーム等との関連諸事業も積極的に進めて参る所存であります。

さて、「古都税問題」から三十年の今日、本年一月には「古都税の証言」―京都の寺院拝観をめぐる問題―を刊行致す運びとなりました。京都は年々入浴者が諸外国も含め増加しております。多くの拝観者

を受け入れることは仏教に触れていただく良き機縁として私どもも大切に思っておりますが、受け入れる寺院も拝観は宗教行為であることの尊厳を守り抜き、お参りの方々を受け入れていることを今一度強く自覚することが今後肝要であろうと存じます。

二〇二〇年の東京オリンピックを前に、日本そして京都の文化を世界に発信してゆくという試みは結構ではあります。日本から海外へ出向く留学生や赴任する企業の人々の中には「私は無宗教です」と返答する日本人が多いという現実を注視せねばならないと思います。日本は宗教的情操に包まれた国であります。その寛容性をもつともつと理解する必要があるかと存じます。

春水満四沢

しゅんすいたくにもみつ

「春水」というのは、おそらく雪解けの水でしょう。春になって雪解けの水がどんどん沢に満ちてきて、それによってさまざまなものが潤う。この句を、そういう春の情景と見ることもできます。しかし、一方この「春水」を「仏法」と見ればどうでしょうか。春が来て雪解けの水がせせらぎとなって沢に満ち、やがて大河となって滔々と流れていくように仏さまの慈悲が遍く充満し、しみ込み、そして私どもがその恩恵にあずかっている。そう解釈することによってこの句の持つ意味が一層深くなるのではないかと思います。各位におかれましては本年がどうか良い年でありますようお願い次第であります。

合掌

スリランカ宗教大臣訪問と 交流の旅

主門跡門院護聖
事務理常会教仏都京

宮 城 泰 年



平成二十八年七月十日から十七日まで京都仏教会初めてのスリランカ訪問で私は団長を務めた。団員二十人は五日間で900km余を走り、仏教者との交流、五カ所の世界遺産（仏教）などを訪ねた。

スリランカは紀元前三世紀にアショーカ王の王子マヒンダがインドから仏教を伝えて以来上座部仏教が根付き、シンハラ族、タミール族の人々がヒンズーの神々とともに仏教を守り興隆してきた。伝では釈尊も三回訪問され布教に当たったと信じられており、篤い仏教信仰と民族が調和して存在している。

空港からホテルまでの約一時間、街中には菩提樹の木が茂り、日本で地藏さんが町内ごとにあるように街角にはブツダの尊像がひときわ目立ち、寺院が散在している情景はまさに仏教の世界、インド洋に浮かぶ聖なる（スリ）島（ランカ）を感じさせた。街の隅々まで仏教が生きているなればこそ、サンフランシスコ講和会議に際しスリランカ代表が日本に対する賠償要求に「恨みは恨みによつては解決しない。憎しみは慈悲によつてのみ消える」と釈尊の言葉を精神に各国を説き伏せ、日本分断が

免れたことは記憶から消えないことである。

到着のホテルは第二次世界大戦中病院として使用され、映画「戦場に架ける橋」の撮影地ともなった「マウントラビニアホテル」であった。

行動の出発点はその翌十一日のスリランカ政府の宗教大臣と司法大臣を兼務するラジャパクサ氏を司法省に訪問したところから始まる。

私は前述のような思いをもって初対面の挨拶を交わした。当初は短時間の表敬の予定であったが、大臣は親しみを込めて両国の間柄を語られ七十五分の会見となった。以下は立場上メモを取れない団長に代わって団員の久保庭啓一郎氏が逐一記録されたものをお許し頂いて略出する。

宗教司法省における ラジャパクサ大臣の挨拶

「私は二十年前からスリランカと日本との友好協会のメンバーだ。日本に滞在して観光もし日本の歴史と文化を少なからず理解できていると思う。これはスリランカと日本の関係が、歴

史と宗教、政治、文化のいろいろの面で長い間繋がっているためでも、仏教の影響は強いものがある。」

「釈迦の最後の教えが長く留まるのはスリランカに於いてである」と、釈迦は語っている。スリランカは上座部仏教で、釈迦が自ら伝えた。仏教にパワーがあることを世界に示したのは、一九五一年九月のサンフランシスコ対日講和会議の動きだ。多くの国が日本の占領状態の終了、独立、自由、に反対した。賠償も求めた。この時当時のセイロン政府は参加国代表の中で最も若いJ・R・ジャヤワルダ蔵相を派遣した。

彼は仏教を学び、遠くを考えることの出来る人であった。彼は対日賠償を押し進めれば、世界はもう一度戦争になってしまふ、と見通していた。そこで、憎しみは憎しみを生む、憎しみは愛と慈しみによつて消える、と論じた。

これが九月六日に行った歴史的なスピーチで、日本から賠償を取ろうと集まった各国代表の考えを変えた。この世界の流れを変えたスピーチは、彼が仏教を学び獲得したパワーだ。法句経（怨みに報いるに怨みを以つ

てしたならば、ついに怨みのやむことがない。怨みを捨ててこそ熄む。これは永遠の真理である）を引用した演説が会議の方向を変えた。仏教の考え方、遠くを見る力、つまりはパワーが世界の世論を変えた例である。」

終生慈悲のジャヤワルダは大統領に就任以後度々訪日し、両国の交流に尽力された。昭和天皇の大喪の礼には元大統領であったがスリランカを代表して参列。九十六年に逝去されたが遺言の角膜炎提供は右目はスリランカ人に、左目は日本人にとあり、片目は日本に贈られている。

大臣はさらに言葉が続けた。「この時のセイロン蔵相は後に、独立した国家スリランカの2代目の大統領になった。日本は政府も国民もスリランカに感謝し、当時、最も不足していた病院を建設してくれた。千のベッドを持つアジア最大の病院で日本はこれにさらに一ベッドを加えて大統領にリザーブしてくれた。また国会議事堂も日本の提供である。」

「古くから日本とスリランカの間には交流があるが、何と言っても仏教の面で両国は近いも

のがある。スリランカでは、田舎に行っても心の中で日本という国を近しく感じている。昔は学生が十年目の国家試験を受ける際には世界の文化の問題が出たが、日本についての参考書は「MALAGIYA ATTHO」(亡くなった人々)を使っている。

これは東京のスリランカ大使館に勤務したSARATH CHANDRAさんが著した、のりこさんという女性が主人公の小説で、日本文化を勉強するには最適のもの。私の世代の者はこの本で日本を勉強したから、日本に行ったことのない人も、日本に詳しく、親しみを持っている。これが日本で出版されていないのは残念なこと。」

「佛陀の降誕、成道、涅槃いづれも五月の満月の夜であったという）ウエサクの祭りは仏教徒の世界的な祭典が始まって来年十三回目を迎えるが、来年はスリランカで五月の満月、十一月一日に行われる。百カ国ぐらいを招待し日本の総理にも働きかけている。皆様もどうぞ来てください。」

私たちは土産として持参した団長揮毫の「南無観世音」を呈した。これ何？と云う草草で

あったが「タラブツダ」のひとつで理解して頂いた。私たちが大理石のブツダ像や書物を頂戴し、会見が終了した後もお互いに立ったまま名残を惜しむ挨拶や写真撮影が十分弱続いたほど親近感溢れるひとときであったのはいつに仏の道のご縁というほかはない。

この突然の長時間会見に大臣室周辺は、次のアポイントの来客や、会議のための僧侶や政府高官によって溢れていた。

司法省を辞しさらに私たちは仏歯寺や仏教界の長老との面談の旅に出た。政界と僧侶の関係が不即不離らしいのは、会談中政策顧問の僧侶が陪席し、また国中の帰依を集めている仏歯寺には選挙によって選ばれた(執事長のような)「仏歯寺大臣」が常駐している。

寺の運営はすべて在俗の白い服が当たっており、僧侶は黄の三衣で宗教行事のみに専念であるところが上座部仏教である。

さて、スリランカと云えばアショーカ王の妹・サンガミッタ王女がブダガヤの菩提樹から分枝してスリランカにもたらした樹が、古都アヌラダプラでい

まだに枝を茂らせている。

堂や回廊が霊木保護のために取りまいていますが、樹に寄せる人々のあつい思いは我が国の霊木信仰にも通じそして勝る情景を見聞した。また訪れた仏教遺跡や祀堂の参拝はなるべく白い服装、そして必ず履物を脱がねばならない。それほどの敬意を仏に寄せている。

有名なシギリヤロックは中腹から岩上へはスズメバチの大きな巣があつて登拝できなかった。ガイドが「大きな声を出さないで下さい。襲ってきます、ことに中国人グループに近づかないで、彼らはやかましいので蜂がよってきます。」これはおかしかった。シギリヤ・レディはそのような喧嘩をよそに、千四百年前の微笑みを浮かべて美しく残っていたのが印象的だった。

強行軍ではあったが多くの交流見学、寶石鉱山の採掘現場やセイロンティ工場の見学、その中には私たちに併せてオープンニングされたレストランなどもあった。そして遺跡が観光地ではなく生きた熱心な仏教信仰の脈打つスリランカであることを学んだ。善き人と良き縁を得ての京都仏教会スリランカ訪問であった。

事業・活動報告

平成二十八年七月一日〜平成二十八年十二月三十一日

*は当会主催の行事・会合

平成二十八年

- 七月 三日 第二十二回知床毘沙門堂・太子堂・観音堂例祭列席
於 知床毘沙門堂
- 七月 四日 「平安京羅城門模型移設プロジェクト」記者会見出席
於 メルパルク京都
- 七月 五日 明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会出席
於 立命館大学朱雀キャンパス
- 七月 十日 宮城泰年常務理事らスリランカ公式訪問
於 スリランカ
- 七月 二十日 京の七夕実行委員会・幹事会出席
於 京都商工会議所
- 七月 二十二日 文化財保存・復元技術展特別セミナー有馬頼底理事長講演
於 東京ビッグサイト
- 七月 二十三日 第四十二回京都中央葬祭業協同組合総会出席
於 ホテルグランドヴィア京都
- * 七月 二十五日 参勤僧会議開催
於 南禅寺順正
- 七月 二十七日 第六十六回法隆寺夏季大学南禅寺中村文峰管長出席
於 法隆寺
- 七月 二十七日 MBS「西村克巳さんお別れの会」出席
於 ホテル阪急インターナショナル
- 七月 二十八日 京都文化力プロジェクト実行委員会会議出席
於 ホテルレピノ京都堀川
- 七月 二十九日 京都府宗教連盟委員総会出席
於 金光教四条教会
- 八月 六日 京の七夕開会式出席
於 二条城唐門前
- * 八月 九日 『京佛』夏季号会報発送
於 京都仏教事務局
- * 八月 十六日 たなばた願文お焚き上げ・盂蘭盆会探燈大護摩供法要
於 清水寺南苑
- 八月 十八日 京都市「歴史の景観保全に関する検討会」出席
於 京都市役所北庁舎
- 八月 二十二日 近畿宗教連盟常任理事会出席
於 立正佼成会京都普門館
- 八月 二十四日 東京都宗教連盟幹事会出席
於 東京櫻井事務所
- 八月 三十日 JR委員会出席
於 京都東急ホテル
- 八月 三十日 京都観光宣伝協議会総会出席
於 京都東急ホテル
- 九月 二日 宗教法人関係者北部地域人権問題研修会出席
於 みやづ歴史の館中央公民館
- * 九月 三日 萬福寺音舞台開催
於 萬福寺
- 九月 七日 宗教法人関係者南部地域人権問題研修会出席
於 京都府立総合社会福祉会館
- 九月 八日 京都文化力プロジェクト実行委員会出席
於 京都平安ホテル
- 九月 十一日 京都市深草墓園秋季慰霊祭列席
於 深草墓園
- 九月 二十一日 京都文化力プロジェクト実行委員会出席
於 キャンパスラザ
- 九月 二十五日 建仁寺「桑」フォーラム出席
於 建仁寺
- 九月 二十六日 秋季彼岸焼骨灰供養法要開催
於 永観堂禅林寺
- 十月 一日 宗教と科学研究会出席・立命館大学工学部
於 大覚寺門跡
- 十月 三日 「若冲の京都KYOTOの若冲」内覧会出席
於 京都市美術館

- 十月 五日 京都文化力プロジェクト実行委員会第二回理事会出席
於 京都ブライトンホテル
- 十月 十二日 東福寺原田融道老師晋山開堂式参列
於 東福寺法堂
- 十月 十四日 大阪府仏教徒大会出席
於 ホテル日航大阪
- 十月 十七日 近畿宗教連盟平成二十八年度兵庫総会出席
於 ホテルオークラ神戸
- 十一月 一日 古典の日フォーラム二〇二六出席
於 ロームシアター京都
- 十一月 三日 東京・水天宮神殿落慶献茶祭参列
於 東京・水天宮
- 十一月 七日 京の七夕実行委員会幹事会出席
於 京都商工会議所
- 十一月 十七日 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議臨時総会出席
於 京都商工会議所
- 十一月 十七日 京都・花灯路推進協議会幹事会出席
於 京都商工会議所
- 十一月 二十日 薬師寺村上太胤管主就任晋山奉告法要参列
於 薬師寺大講堂前
- 十一月 二十一日 鹿苑寺開山夢窓国師・開基鹿苑院殿毎歳忌法要参列
於 鹿苑寺
- 十一月 二十一日 平安京羅城門模型京都駅設置 記念式典出席
於 京都駅前北口広場
- 十一月 二十三日 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議臨時総会出席
於 東京大学
- 十一月 二十四日 第二回歴史的景観の保全に関する検討会出席
於 京都市職員会館かがわ
- 十一月 二十四日 第八回「地震火災から文化財を守る協議会」幹事会出席
於 立命館大阪キャンパス
- 十一月 二十八日 大阪府宗教連盟理事総会出席
於 念法真教総本山金剛寺
- 十一月 二十九日 東京都宗教連盟宗教法人研修会出席
於 カトリック東京大司教区関口会館
- 十一月 三十日 京都府宗教法人関係者人権問題研修会出席
於 ハートピア京都
- * 十二月 五日 参勤僧会議開催
於 南禅寺順正
- * 十二月 七日 成道会・永年結統表彰開催
於 泉涌寺
- * 十二月 七日 大阪市仏教会結成七十年記念祝賀会出席
於 ホテル日航大阪
- 十二月 九日 京都・嵐山花灯路開会式出席
於 レストラ嵐山
- 十二月 十日 京都府立京都市と宗教研究会開催
於 承天閣美術館
- 十二月 十五日 京都府「技の継承」事業専門家会議出席
於 祇園祭山鉦連合会
- 十二月 二十日 京都テロ対策ネットワーク総会出席
於 京都府警察本部
- 十二月 二十一日 第三回歴史的景観の保全に関する検討会出席
於 京都市職員会館かがわ
- 十二月 二十三日 明日の京都文化遺産プラットフォーム主催第六回フォーラム出席
於 立命館大学朱雀キャンパス
- 十二月 二十三日 京都府立京都学・歴史館オーブンテック記念式典出席
於 京都府立京都学・歴史館

「技の継承」事業

祇園祭各山鉾保存会や府内の神社、寺院が所有する文化資料の復元・新調等を通じて若手職人（京もの認定工芸士）等が京の名工等の指導を受けながら、高度かつ稀少な技術の修得・技術向上を目的とした技術の研鑽・修得を行う。平成二十一年度から、京都府と当会、神社庁、祇園祭山鉾連合会等が協力し行っている。

平成二十六年年度対象寺院

眞證寺（亀岡市）掛軸四本（修復）

聖徳太子御影

親鸞聖人御影

七高僧御影

順如上人御影

修復前



修復後





伝統の心を映した 古都のやすらぎ

ご宿泊や、おくつろぎのひとつに
また、会合などさまざまなお集まりに、
お気軽にご利用ください。

ご予約・お問い合わせは
◆東急ホテルズ予約センター◆
東京予約センター Tel.(03)3462-0109
札幌予約センター Tel.(011)533-1090
名古屋予約センター Tel.(052)202-1090
大阪予約センター Tel.(06)6314-1090
福岡予約センター Tel.(092)262-1099



京都 東急ホテル

〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル(西本願寺北側)
Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488
www.kyoto-h.tokiyuhotels.co.jp



いつも新しい感動を 京都ブライトンホテル

京都ブライトンホテルは京都御所の西、閑静な住宅街にあります
ここは、かつて千利休や樂長次郎が行き交ったであろう文化の中心地
この場所にふさわしく、新しい文化発信基地となるよう
よりよい商品とサービスを提供し続けてまいります


京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
Tel.075-441-4411(代) Fax.075-431-2360
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto>

文化財修理・保存／文化財調査／絵画・墨蹟・一般表具一式
御本山御用達 古文化財保存修理研究所 (有)矢口浩悦庵

京 表 具 こう えつ あん
浩 悦 庵

〒602-8025 京都市上京区衣棚通丸太町上る今薬屋町 318 番地
Tel.075-254-6021/Fax.075-254-6022 <http://www.koetsuan.com>

発行日 平成二十九年一月三十一日
発行所 京都仏教会
〒602-0898 京都市上京区今出川通
烏丸東入相國寺門前町
六三六・一
電 話 (〇七五)二三三―六九七五
F A X (〇七五)二三三―六九七六
表紙撮影 中 淳志
印刷所 (株)精巧社

平成二十七年四月より
事務所を移転致しました
新住所
〒六〇二・〇八九八
京都市上京区今出川通
烏丸東入ル
相國寺門前町六三六・一
(番地のみ変更)



世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。

ANAクラウンプラザホテル京都
〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkkyoto.com

ANA CROWNE PLAZA
KYOTO



京都洛北 四季の彩りと静寂に つつまれて
グランドプリンスホテル京都

洛北の豊かな自然の中で
ごゆっくりと京情緒をお楽しみください。

Grand Prince Hotel
Kyoto

グランドプリンスホテル京都
〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池 TEL:075-712-1111

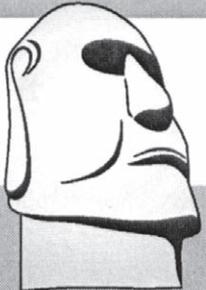


でかける人を、ほほえむ人へ。 西武グループ

精進料理

上 うえ **幸** こう

〒604-8503 京都市中京区大宮通り錦上ル
電話 (075) 821-3872
(075) 821-3837



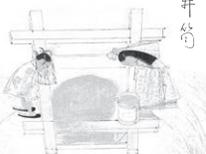
石 有限 北尾 石材
会社 URL:www.good-stone.com
大原店/八瀬店/市原野店/京北店
TEL:075-781-9523 FAX:075-781-0510
〒608-8225 京都市左京区東大路百萬遍上る東側

授与品・記念品・その他一式

井筒授与品店

フリーダイヤル **TEL 0120-075-820**
フリーダイヤル **FAX 0120-075-890**

〒601-8348
京都市南区吉祥院観音堂町23番地
E-Mail:izutsu5@iz2.co.jp



文化財建造物修復・社寺建築設計施工

園 木澤工務店

代表取締役社長 木澤善之
代表取締役会長 木澤源平 専務取締役 木澤善和

本 社 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628(代) FAX (075) 752-9430
営業所・工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL (0749) 42-2859(代) FAX (0749) 42-5727

心和むひととき…… JUNSEI

名物ゆどうふ

南禅寺

順正

左京区南禅寺門前 TEL (075) 761-2311
FAX (075) 751-8812

清水順正おかべ家
清水寺門前……TEL (075) 541-7111
祇園円山かがり火
円山公園駐車場前…TEL (075) 541-0002

京表具

表具全般 古書画修復

前田秀畹堂

〒604-8121
京都市中京区柳馬場通錦小路上る
TELFAX. 075 (221) 5754

京石塔
石工事
記念碑



株式
会社

石寅®

石工事・土木工事・造園工事（京都府知事認可）

本店 (〒616-8376) 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町1-10
電話 (075) 881-1481 番 FAX (075) 881-1480 番
新丸太町店 (〒616-8305) 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町33-2
電話 (075) 882-2124 番 FAX (075) 882-2128 番
丹波営業所 (〒622-0211) 京都府船井郡京丹波町上野中野31-1
電話 (0771) 82-2681 番 FAX (0771) 82-2751 番
京丹波店 (〒622-0213) 京都府船井郡京丹波町須知天神18-1
電話 (0771) 89-1481 番 FAX (0771) 89-1480 番
石寅ホームページ URL: <http://www.ishitora.co.jp/>

借地管理でお困りではありませんか？

弊社では、顧問弁護士 橋口 玲 他、司法書士、土地家屋調査士、
宅地建物取引士などの専門スタッフを揃え、円滑な借地管理の
お手伝いをさせて頂いております。現在、管理実績は700戸越えです。

●ご相談・資料請求は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 玄武管財

TEL 075-411-1214 / FAX 075-411-1241
京都市上京区相国寺門前町 647 番地 1
E-mail: info@kyoto-genbu.co.jp
<http://www.kyoto-genbu.co.jp/>



永年の信用
まごころのご奉仕

公益社

ブライツホール 京都、滋賀に 8 つの葬祭式場

北ブライツホール [堀川紫明] 山科ブライツホール [五条外環]
中央ブライツホール [五条大和路] 烏丸ブライツホール [烏丸高辻]
南ブライツホール [油小路八条] 宇治ブライツホール [宇治横島]
西ブライツホール [五条西大路] 大津ブライツホール [大津駅南]

本 社 / 京都市中京区烏丸通六角上ル
☎ 0120-004-200 **公益社 京都**

葬 儀

— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく —

玉泉院

株式会社 セレマ

もよりの営業所へご連絡ください。(24時間営業)
寝台自動車のご用意も承ります。

京都営業所 ☎(075) 682-4444
宇治営業所 ☎(0774) 32-4242
向日営業所 ☎(075) 921-4444
大津営業所 ☎(077) 524-4444
亀岡営業所 ☎(0771) 22-0042

経済産業大臣認可/全日本葬祭業協同組合連合会加盟

京都中央葬祭業協同組合員名簿

<http://www.kyosokyoku.jp/>



信頼と安心の

全葬連 葬祭サービスガイドライン

●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス

京葬協は、葬祭サービスガイドラインを遵守いたします

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ ま る い ち	小林 静男	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518
浅 井 厚 生 社	浅井 宣壹	075-811-3821	中京区旧二条通千本西入ル
(有) 京 都 日 葬	九谷田満雄	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13-11
花 安 吉 村 和		075-463-7276	中京区西ノ京御輿岡町20
㈱ 公 益 社	松井 昭憲	075-221-4000	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱京都セレモニー	松井 昭憲	075-221-8400	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱公益サービスセンター	松井 信五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2
篤 政	滝口 泰彦	075-691-0826	南区竹田街道大石橋上ル西側
洛王セレモニー㈱	北村 憲司	075-933-4242	南区久世高田町35-3
あ め 直	阪邊賢津子	075-611-0400	伏見区京町六丁目54-1
あ す 華 葬 祭	児 嶋 節 子	075-643-4242	伏見区深草大亀谷古御香町150-8
㈱のじり葬儀店	野尻 智美	075-611-4211	伏見区治部町123
㈱ 山 長	山 田 一	075-861-1422	右京区太秦西峰岡町1

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ ア シ ス	岡本 研三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3
㈱ 乙 訓	菜島 康男	075-952-1520	長岡京市奥海印寺東山15-7
(有)城陽葬祭杉村	杉 村 等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116
㈱宇治葬祭篤辰	木 村 久 孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
山城葬祭㈱現丸屋	小 川 保 善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
花 福	福 田 善 文	0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
(有) 阪 口	阪 口 仁	0774-76-2146	木津川市加茂町駅西1-5-3
平 城 公 益 ㈱	西 川 弘 人	0774-72-5709	木津川市相楽鳥井7-1
㈱ 松 本 仏 具 店	松 本 光 雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
(有) い ち た に	一 谷 和 弘	0771-62-4949	南丹市園部町小山東町水無38
㈱セレモニーまつだ	松 田 政 一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町字弓木956
おのえメモリアル	尾 上 康 則	0772-42-5555	与謝郡与謝野町算所229-1
(有) 向 井 葬 祭	向 井 文 男	0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156

最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか!? など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。

住所/京都市左京区下鴨西本町26-2
営業時間/(都合により変更する場合があります)
17:00~22:00
お問合せ/
075-722-3405
Produced by **あのみや**本舗

鉄板焼き・茶料理
一玄
いっげん

税理士法人 **古都**

〒600-8431
京都市下京区綾小路通室町西入る
善長寺町139番地AMI四条烏丸ビル405号
TEL・FAX: 075 (352) 7778
E-mail: nakamasa@bridge.ocn.ne.jp

京念珠® 各宗珠数 各種玉類 製造卸
弊店は珠数製造卸業です。小売は行って居りません。

京都・中珠数屋町
株式会社 **神戸珠数店**

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電話 (075) 371-3929(代)
FAX (075) 371-3930
定休日 日曜・祝祭日・第二第四土曜

社寺建築設計施工
伸和建設株式会社

代表取締役 北尾行弘

〒615 京都市右京区西院上花田町21-0007 (西大路三条西入ル南側)
電話 075-311-0054 (代表)
FAX 075-322-0152

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

株式会社 **松煤園**

〒600-8075
京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル
電話 (075) 351-6380 (代表)
FAX (075) 361-8006

お墓の事ならなんなりと
一般建設業の許可: 京都府知事 許可(般-23)第38917号

石のカウンセラー **都** みやこ
株式会社 **石棧** 都

ヨクゾ ヨイイシ
☎ (075)491-4114(代) FAX(075)491-2426
京都市北区小山北玄以町24番地(上賀茂橋西詰バス停前)

遠近を問わず
お伺い致します
(見積り無料)

萬福寺音舞台



日本初の
大回顧展。

LUCAS
CRANACH
THE ELDER
500 Years of the Power of Temptation
2017年1月28日[土] — 4月16日[日]
五〇〇年後の誘惑
展

KUNST
HISTORISCHES
MUSEUM
WIEN
2013 — 2023
TBS

MBS

朝日新聞

ルカス・クラナハ(父)
《ホフフェルネスの首を持つユデト》(部分)
1525/30年頃、ウィーン美術史美術館
© KHM-Museumsverband

This exhibition is organized in collaboration
with Kunsthistorisches Museum Vienna.

休館日:月曜日 | ただし3月20日[月・祝]は開館し翌日休館 | 開館時間:10:00 ~ 17:00 金曜日は10:00 ~ 19:00(入場は閉館の30分前まで)
主催:国立国際美術館、ウィーン美術史美術館、TBS、MBS、朝日新聞社 | 後援:外務省、オーストリア大使館
特別協賛:大和ハウス工業株式会社 | 協賛:大日本印刷 | 協力:オーストリア航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ルフトハンザドイツ航空、
アリタリア-イタリア航空、日本航空、日本通運、ダイキン工業現代美術振興財団
観覧料金(税込):[当日] 一般 1,600円、大学生 1,200円、高校生 600円 | [前売/団体] 一般 1,400円、大学生 1,000円、高校生 500円

●団体は20名以上 ●中学生以下は無料 ●心身に障害のある方とその付添者1名無料(証明できるものをご提示願います) ●前売券は、2017年1月27日[金]までの販売
●チケット販売各プレイガイド(イープラス、セブンチケット、チケットぴあ、 Lawsonチケット)ほか主要プレイガイド 手数料がかかる場合がございます。●国立国際美術館では前売券の取り扱いはしていません

[展覧会ホームページ]

www.tbs.co.jp/vienna2016/

[お問い合わせ]

06-4862-5777 (事務局)

平日10:00 ~ 17:00
(上記以外の時間は
アンサーガイドによるご案内)



国立国際美術館

THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55